

「血の金」の金髪の女と金髪の女

駒全哉

前略　『東京』七月四日手せつ。ありがとう。

さて、安て血を売つてゐるやうにあされたのだが、ポンテウレの世、旧い話であるが我が「赤い血、白い血、吸血鬼」時代をうりとおおむねに——ヒロッとも、専じ血を売らなければその口をしのけない人をバカにするきないが、頗る度世だネ！　しかし、その気あき争はよくわかるが。人は也末な名をしこれば血で眼を見る、ひとノリのきこたシャツを着れば手力に付けられる、とかくこの世は生みにくのが生きねばならん！　だが粗末な書きした奴に眞の悪人はいなし。眞の悪人の如きのは、二コ一コと愛想の良い吸血鬼ではないか。殊々女が売られるが、今日は血

液パンクについて聞かれた件をたゞした多雨にはならんが、ますとこまでの動きが少し出来ないと思ふ出せないが……。

そりつはなんと当時の 方が高く売れてた

手にある腰わたり地に這わせ、血濁りのなかをびくびくと言ひすりおわるや、うは血をどうか？　舊國の動亂になると、こうぢは凶対に敗戦のびたくた時代も古はり、人情重などと人間のネウチうしきものが母定し始めたようだ。それでも当時は、四つたまつ刀の感嘆をして、漏死の重傷を負わせてモ罰金刑、四つて一、二年を務めれば即ち行から、人畜はなじか。殊々女が売られるが、今日は血

つた。大衆的に、生命は大切にしよう？人を傷つける？大変だ、と駆除されたのが、田和三年の女郎屋さんがお亡くなりなり横井社長暗殺未遂事件を田舎道が起こしてからがせんと血のネウチが付いて、微々たる傷害事件でも人命尊重のたてまえ重罪に科せられ、血がにじんじこか、鼻血がこぼれても一、二年の実刑を打たれ、とにかく血が出たといえど大騒動なのだ。それからすると、現在は想像がつくと思う。

力安いのはどうしたこヒカ？ 人間の体には
四〇〇〇㍑の血がある。一〇〇㍑三五〇円の
現在、一万四〇〇〇円が人間一人を皮むいて
シユーサーにかけてよく稼り取つたネタン巳
狂乱物価の今日、土方の一日の手間が五〇〇
〇〇七〇〇〇円だ。三日分にも満たないのが
人命尊重と語りでいる、却一人様の生命のネ
ダンなのだ。これはどうしたこヒカ？
レンド・パンフなるものができたのが、ア

前に初めて眞面目な人見つたが、アルバイトに共産党的活動をしたことがバレて一方的に首切りになり、毎日本社への斗争のあげく刑務所、そして相手にされない社会へ屏つて人夫をやり血を売るところを知った。

会の職人共の手間も三〇〇、五〇〇円だった
二〇〇㍑の血など若い身には取扱う程にも
こたえない。それより女の肌がちらついて眠
れない。女郎こんの情報を知つたら一夜として
行かずば寝られない我曰、毎日血を売る決心
をして通つたが、女もはじめになるべくあまり
無理を云わないので、一日おじては売血に通
つた。三食とたばこ代を五〇〇円でまけた
昔う。こんな生活を千年位続いた頃に、方々
にもぐりのバンクがあることを知り、反対ビ
一人でウマイ汁を吸うことを教えられて、あ
るドンクへ行つた。

常羽習者となるまで

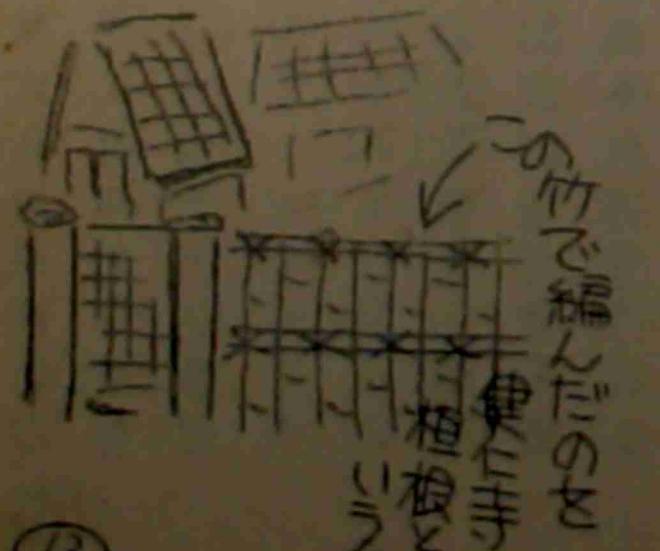
セビ嘉吉が豊かになりましたが、一これからかう銀行のバンクの始まりなのだ！

「おがほははて被りれた輕薄な煙草の、
お前者せ、「ハハ、（一四〇円のや西）ヒー、
た時ヤリ。

仕事や口ワニに付く時にしてわざり自らとんでも
うござんとこじ廻よぐ元れだ。ちなみに、一〇〇円〇〇円。
お世間の本町をし、三〇分、一匁酒を
お世間の本町をし、三〇分、一匁酒を
セシムにておせん、あるた家族のゆく附れり
此のカーネバだつた。これにびつてるれ
べし、一回に一人から一〇〇〇円以上は採血を
しなじが、當時一〇〇〇円あれどか部屋れん
がけこの間が一五〇、二三〇円、少り一二
時から五〇〇、八〇〇円、夜の一、二時が過ぞ
るまであつて此のあたり「ひきりあひてかわ
い」ネエリヤて見て歩む、五〇〇円自と話
を決めゴハンを喰わせし音に抱つて数々のお
世話をなし？ 嘴の昇る元わやかな神並木ふ
りふりひらひらした所に廻まで走られてたらこ
一つサーキスしてくれば「また今夜ね？」な
んかの親切でこつたら弁天棟だよ。

その歴史を抜けていかず、と
音こくにとがつ。ボクシの
家が見えりへり。」

看板を下げる初めての方は右側の事務所へおいで下さい。日本医療』と小さく書いてある



る。一〇世程の血を抜けた薙れのハ枯樹が危険の事務所になつてあり、戸をかけると屢々には不似合ひのぎょろ目の血走ったチョビ髪を生やした五〇がらみの吸血鬼のようなオヤジが、笑つてゐるのは思えない駄つた苗々き飛び出さんばかりにして笑つてゐるだけ(「ココニコ」と?)。

「どうぞお上がり下さい。おめでですか? 誰方かにお聞きて見えたはしたか? 大夫どうな体をしてますな」(ウヒニヒ) 上から下を見て血色を見て話す素振り動作は、どう見ても「ノガミ(上野)のヤカマサマ」だ。

二尺の廊下に廻り一画りの話は終り、事務員は五人だが手が足りなくてみんな各病院へ御用聞きに出でること、との日の内に金になるというのを嘗つた。血友型ヒ名前、住所、年令を簡単にノートに書き込んで、先輩井の泊りへ案内される。こんなリボウシの西洋言くずれの搭寄せの時間が過ぎになつて

お歸りした。「なあに三日もこれば全て分りますよ。仕込みですか? ぐう聞かれ途悪つて見る我を見て、他の辺の」「こんなこじ体をしてこるのはもん、家位ありますよね?」ビ

他の方に話しこのような態度を聞くとも思はせれる比重のない様だ。

みんな中に入り、若い奴に挨拶を交し様子を観た。」(「なあに三日もこれば全て分りますよ。仕込みですか? ぐう聞かれ途悪つて見る我を見て、他の辺の」「こんなこじ体をしてこるのはもん、家位ありますよね?」ビ

ここで手もだつてばらんに「刑務所から出て来たので、仕事に廻つてくれるところがなこので」と話すと、バクチをやつしてた連中はみんな寄つて来て、親は兄弟は事半ばど身ねねめ、話は進み、その後から四條の権利交付けこしました。

それに依ると、一ヶ月アゴゼミ〇〇〇円で良いくらいにになった。一日一食で布団はベッドにてこりのた!

それで、これが何時何月何日何時何分で、貴い人の名前でたべことになつた。

なつて口裏で誰かにもぐり込めば良し。そして夜間の売血額は五百円という、それは泊り込んだところの機械だ。トコロは一〇〇、八三五〇、五〇〇円というからくりがある。日本奴は五〇〇円だから夜間は七五〇円になる。

一度に四〇〇と扱じこそこのオヤジに払えば一ヶ月はアゴ代ヒタヤ代の匹配がいらないのだから、受け者が増えるわけだ。

一度に五千とまで扱いてよいと病院で認めている。月に二、三度どりうことも決められていが、血の比重があればあまりうるさいことはない。

一時間位みんなと話込んでくるうち「A型文を告げてくる。オズ的な角田ヒシの「あ前毒つ取る」とまわりの奴を見てB型の奴を何人か捕える。丑の良し奴と悪い奴がいる。お茶を飲んで行くと丑が度いらしく、我にも飲んで行けど云う。ケない奴でも二〇〇は抜くのと一七七人で事務所に寄つてカードを作

何月何日何時に採血 血の比重 現在何处にて貴い人の名前でたべこと		何の病院へ責任者の名などを記名するか
月日	時刻	
明治	午後	小江戸病院
午後	午後	東京大病院
午後	午後	太郎
午後	午後	大病院長印

これが、新聞報紙を見たりカーと類で十円バツチをやつて送文を送つてこるのはどれも白い奴ばかりで、血を抜くよりも輸出の必要を感ぜさせる比重のない様だ。

みんな中に入り、若い奴に挨拶を交し様子を観た。」(「なあに三日もこれば全て分りますよ。仕込みですか? ぐう聞かれ途悪つて見る我を見て、他の辺の」「こんなこじ体をしてこるのはもん、家位ありますよね?」ビ

で、血液型さえ合つこいればカードなどは無限に作れる。同じ人のカードを五枚は最低用意してある。

大きな病院を五つは入つこじるのを日々で古いカードを持って行く、その様にして毎日二〇〇と抜いて五人家族で暮している人もいた。そのような人はなるべく夜の跡をまわしてやり、二、三〇〇〇円の月給になる? 夫婦者で友達で抜いてくるのはいくらもいたし、みんな定収入を費してこれだけ暮していた人が多い。当時やほたたの女たちに加しい精気を盛り

てたので採血はしこくれないと思つていたが、そんな病気など何も来ることはなかつた。

人のカード持つて病院へ行き、女中さんが車にはねられて剖腹手術ヒリうことだつた。事前に一〇〇〇円採り、二時間の手術だから後は三〇分毎に五〇〇円といふことだつたが、三人目貧血を起こして倒れてしまい、病院はハ〇〇〇円を三回で抜いて、二時間ばかり病院で休んで来た。

毎度抜いてる奴らの血はみせ穴のように薄くて比重がない血で、看護婦達も怒り出し、もつと元気のよい人をまわせヒ事務所へ電話するも人間が足りなくて、看護婦達に頭を使はれた奴ばかりしかいなじような状態だつた。

日〇〇〇円あれば一週間女郎屋へ泊り続けれられるので、二、三日もすれば体は回復するが、上（赤い血）ヒ下（白い血）でよくも寝張つていたものだ。ヤリ一筋の武士だよ？とにかく病院の往来が女郎屋街を通るのだから

らたまらない。一〇〇〇人のうちいる女人、そして二〇代ヒなれば素通りをむるはずがない。明るいうちから「よつてらつしゃいよ」と引つ張るのだから、一、三〇〇メートルの「ナカ」を抜けのにぐれでれヒ一小時間もかかる。ちよくの間やつて出で来こも、またもアあまり声がかかるれば気がおかしくなる。しかしこんな末世を何も悪いこと云しないで毎日泊まるきじはいかないが、半月は泊り後は他で浮氣しこたかない日はない。

吸血鬼の子分間に なつてく知つた実態は

白い血はゼニにはならんが夢がある。赤い血のこども心配して、面に面に布めこ女房でも貰うべになり、吸血鬼に相談したら、子ガになれという。一食壙して三食付きで五〇〇〇円くれるというので、考えたがウマイ汁を吸わせるヒリうことだ、翌日から日本医療の外交=いうことになつた。